

平成 23 年度 相模原商工会議所 環境活動報告

1. 中小企業に対する環境対策の普及・啓発事業

(1) 節電アドバイザー派遣事業

市内中小企業が、節電対策を講じながら安定操業を目指すことを目的に専門家(節電アドバイザー)を派遣、具体的な節電方法を提案し、節電対策を支援した。

派遣企業数 48 社

(2) 相模原市蓄電器等購入助成金事業

東日本大震災の影響による電力供給不足に伴い、市の区域内の事業所に、蓄電器、発電機及び電力計測監視装置を設置し、節電対策を講じる事業者に対し、助成金を交付した。

助成件数 46 件 (発電機 11 件、電力計測監視装置 35 件)

助成金額合計 3,425,000 円

(3) 環境対策優良事業所表彰

相模原市内企業で環境対策への取り組みが顕著な事業所を表彰並びに認定した。

被表彰事業所 20 件

※表彰基準：認定事業所の内、特に環境対策への取り組みが顕著な事業所を表彰。

認定事業所 276 件

※認定基準：環境対策行動宣言項目について達成率 90%以上、又は点数 70 点以上の事業所を認定。

(4) エコショップ認定申請受付 1 件

(5) エコオフィス認定申請受付 5 件

2. 部会事業

○ 工業部会事業

(1) 新成長ビジネス GET プロジェクト事業

実施年月日	実施内容	参加者 (人)
平成 23 年 8 月 26 日	「次世代自動車セミナー」 ～日産自動車における技術開発と電機自動車～ 講師：永山啓樹氏（日産自動車㈱日産先進技術開発 センター 企画・先行技術開発本部 テクノロジ マーケティング室主管） 会場：市立産業会館 国際商談室 内容：日産リーフに代表される電気自動車の技術開 発と展望についての講演	45
平成 23 年 10 月 28 日 ～29 日	「長野・東京ガスの森&榎山商店宿泊視察会」 本事業の一部として、環境保全の大切さについて理 解を深めるために、保全地域の散策による体感と、森 林保全の一環として記念植樹を実施した。	30
平成 23 年 12 月 6 日	「東京ガス・スマートエネルギー実証施設視察会」 会場：東京ガス千住テクノステーション 内容：会場内のスマートエネルギー関連施設の視察 見学と燃料電池自動車の試乗等を行った。	23
平成 24 年 3 月 9 日	「次世代自動車セミナー」 ～燃料電池自動車(FCEV)セミナー(日産自動車編)～ 講師：荒井 孝之氏（日産自動車㈱EV システム研究 所主管研究員） 会場：市立産業会館 多目的ホール 内容：日産の FCEV 開発の現状と 2015 年の導入・ 普及にむけた取組みについての講演	63

(2) さがみはら節電大賞の実施

平成 23 年 7 月から 9 月の 3 ヶ月間、国が実施した電力使用制限の下、計
画停電を回避することを目的に、市内中小企業の節電意識を高めると共に、
その懸命なる取組みに対し、エントリー制による節電コンテストを実施した。

なお、本事業の参加対象は相模原市内の全事業所とした。

- ・ エントリー参加数：216 事業所
- ・ 表彰事業所数：

- ① 削減量部門：16事業所
- ② ピークカット部門：13事業所
- ③ ユニーク部門：14事業所

○ 首都圏南西地域産業活性化フォーラム

実施年月日	実施内容
平成23年 11月2日	「再生可能エネルギー 関連技術の最新動向！」 会場：サンエールさがみはら 内容：NEDOや学術機関の再生可能エネルギーに対する研究開発動向についての講演
平成23年 12月13日	「再生可能エネルギー 関連ビジネス」 会場：サンエールさがみはら 内容：太陽光発電、風力発電、燃料電池に関する各企業の取組みについての講演

○ R16 ミニTAMA ビジネスセッション

実施年月日	実施内容
平成24年 2月14日	<p>内容：相模原・町田・八王子三市の商工会議所による中小企業同士の連携を活かした革新的な製品を創出するための地産地消広域連携事業として「第2回ものづくりプロジェクト」を開催。</p> <p>○ 事例紹介</p> <p>講師 玉川大学工学部 教授 大久保 英敏氏 内容 今後成長が見込まれるエネルギー分野の可能性と課題</p> <p>講師 (株)テレム 顧問 大沼 満氏 内容 リサイクル市場の技術と課題</p> <p>○ 第1号ビジネスモデル発表</p> <p>発表者 アイワ広告(株) 代表取締役 小山 雅明氏 内容 太陽光・LED・リサイクル素材を利用したエコ設計看板</p> <p>会場：ラポール千寿閣</p>

○ 商業部会 商店街地域貢献事業

地域と連携した美化運動を商店街が実施できるよう支援するため「さがみはらクリーン大作戦」（市内一斉清掃）を実施。

実施年月日	場 所	参加商店街	参加者（人）
平成23年9月14日	市内各商店街 エリア	37	604名（商店街411人、 協力団体等193人）

平成 24 年 3 月 16 日	市内各商店街 エリア	34	543 名（商店街 369 人、 協力団体等 174 人）
------------------	---------------	----	----------------------------------

○ サービス業部会 視察研修

地球温暖化等の環境問題についてわかりやすく展示したかわさきエコ暮らし未来館と日本最大級のメガソーラーである浮島太陽光発電所の構内を視察。

実施年月日	場 所	参加者（人）
平成 24 年 1 月 26 日	かわさきエコ暮らし未来館 浮島太陽光発電所	11

3. 検定・研修

○ 平成 23 年度 東商環境社会検定試験（eco 検定）の実施状況

回 数	実施年月日	種 類	人 数
第 10 回	平成 23 年 7 月 24 日	受験者数	167
		合格者数	90
第 11 回	平成 23 年 12 月 18 日	受験者数	131
		合格者数	81
合 計		受験者数	298
		合格者数	171

○ 平成 23 年度 環境規格に関する研修の実施状況

項 目		実施年月日	場 所	出席（人）
ISO14001	入門編	平成 23 年 5 月 20 日	市立産業会館	22
	内部監査員 養成講座	平成 23 年 6 月 23 日・24 日	市立産業会館	24
		平成 23 年 10 月 20 日・21 日	市立産業会館	32
エコアクション 21 相模原セミナー		平成 23 年 7 月 29 日（説明会）	商工会館	13
		9 月 16 日・10 月 20 日・11 月 21 日・2 月 15 日・3 月 16 日 （全 5 回）		5

4. 容器リサイクル・産業廃棄物

- 再商品化義務のある事業者（特定事業者）からの再商品化委託申込書の受付を財団法人容器包装リサイクル協会より委託を受け実施。

【平成 23 年度受付件数 4 件】

- 「廃棄物交換システム」に基づく廃棄物情報の提供と廃棄物交換システム登録申込書の受付。

【平成 23 年度受付件数 1 件】

5. 天然水「さがみの潤水」の売上金の一部を環境保全等に活用

平成 23 年度相模原市の委託事業で天然水「さがみの潤水」を開発。平成 24 年 4 月 7 日の市民さくら祭りから販売を開始。本製品販売 1 本につき 5 円を水源保護、森林保護等の基金として活用される。

6. 相模原商工会議所としての取り組みの推進

(1) 環境へ及ぼす影響を減らす取り組み

ア. エネルギー使用関係

a. エネルギー効率の向上

① 電気使用量の削減

- ・ デマンド監視システム導入により、電力使用ピーク時を監視し、電気使用料の抑制を実施。
- ・ クールビズ（気温 28℃、湿度 70%）、ウォームビズ（20℃）の徹底実施。
- ・ 休憩時間や使用していない部屋、廊下等の消灯、また、5 時以降事務所内の一部消灯を実施。
- ・ パソコン、モニターの省電力設定を実施。
- ・ 長時間席を離れるとき、パソコンを使用しないときのパソコン、モニターの電源オフを実施。
- ・ 共有プリンター、コピー機、複合機など OA 機器の帰宅時の電源オフを実施。
- ・ シュレッダー機器などの未使用時の電源オフを実施。
- ・ 窓の開閉可能な部屋では窓の開閉により室温の調整を実施。
- ・ ブラインドやカーテンで冷暖房の効果的運転を実施。
- ・ 給茶機の使用時間制限を実施。

② ガスの使用量の削減

- ・ ガス湯沸かし器の口火をこまめに消すことを実施。

③ エネルギー使用量の把握

- ・ デマンド監視システム導入により、年間を通じ把握。

イ. グリーン購入の積極的実践

名刺、封筒等エコマーク商品や再生材料から作られた製品を優先的に購入し、使用することを実施。

ウ. 節水、水の効率的利用

手洗いやコップ・湯のみ茶碗などの洗い物時の節水を実施。

エ. 排出物

a. 廃棄物の発生抑制

- ・ パソコンプリントアウト、コピー、印刷するときは再確認を行いミスの抑制を図る。
- ・ 両面によるパソコンプリントアウト、コピー、印刷を実施。
- ・ 使用済みコピー用紙の裏面使用やメモ用紙として活用することを実施。
- ・ 所内電子化などにより紙使用の削減に努める。
- ・ ガラス容器などで詰め替え可能なものに関する消耗品等購入時には詰め替え可能な商品購入を実施。
- ・ 老朽化等により設備、備品等の購入を検討する際には、原則、修理、部品交換等により長期使用することを実施。

b. 廃棄物の適正処理

- ・ 一般廃棄物の処分は委託業者に依頼し、廃棄物マニフェストにより週3回、分別（紙類、プラスチック、びん、缶、蛍光灯等）回収を実施。
- ・ ペットボトルは各種飲料自動販売機設置業者が月単位交代で定期的に回収を実施。
- ・ 再生トイレットペーパー購入時に新聞、段ボールの回収を実施。

c. リユース

- ・ 封筒、クリップ、画鋏などの再利用を実施。

オ. 流通(包装を含む)

a. 自動車の燃費効率向上等

- ・ エコドライブの実践（アイドリングストップ、急発進・急加速・空ふかしの禁止、不要積載物の排除、適正スピードの励行など）。
- ・ 法定定期的点検の実施。
- ・ タイヤ空気圧の定期点検を実施。
- ・ 車両更新時には環境負荷の低い車両（低燃費ガソリン車、ハイブリッド車、電気自動車など）への転換を検討。
- ・ 近隣への巡回等は、自転車や徒歩で訪問。

(2) 環境に配慮した経営

ア. 環境経営システム

- エコアクション21取得（取得：平成23年11月10日）
- 相模原市エコオフィス認定取得 本所・南支所（認定：平成21年5月1日）

イ. ステークホルダーへのアカウントビリティ(利害関係者への説明責任)

- 相模原商工会議所ホームページで環境行動計画及び環境行動計画の推進について紹介。

ウ. 教育、プロジェクト等

- 地域社会プロジェクト

- ・ 相模原クリーン大作戦に職員が参加
（平成23年9月14日に10名、平成24年3月16日に9名）。
 - ・ ペットボトルのキャップを集め、世界の子ども達などへのワクチン接種に貢献。
- 東商環境社会検定試験(e c o検定)の合格
平成21年度から23年度の3年間において、事務局長以下全職員が受験し、全員合格した。(但し、平成24年度採用職員、パート職員を除く)